



## 火事（かじ）について

火事（かじ）は、毎日（まいにち）の生活（せいかつ）の中（なか）の不注意（ふちゅうい）が原因（げんいん）で起（お）こることが多（おお）いです。

火事（かじ）を防（ふせ）ぐためには次（つぎ）のことに注意（ちゅうい）してください。

1. 火事（かじ）の原因（げんいん）で多（おお）いのがタバコです。ベッドや布団（ふとん）の中（なか）では、たばこを吸（す）わないようにしましょう。
2. ガスコンロや、ストーブなどのそばに、ものを置（お）かないようにしましょう。
3. 料理（りょうり）をするときは、コンロのそばを離（はな）れないようにしましょう。
4. 火事（かじ）が起（お）きると音（おと）が鳴（な）って知（し）らせてくれる火災報知器（かさいほうちき）を、家（いえ）の中（なか）につけましょう。

そして、もし火事（かじ）になったら、あわてず落（お）ち着（つ）いて次（つぎ）のことを行（おこな）ってください。

1. まず「火事（かじ）だ！」と大（おお）きな声（こえ）を出（だ）したりして、まわりの人（ひと）に知（し）させます。
2. 次（つぎ）に消防署（しょうぼうしょ）へ連絡（れんらく）します。119（いち・いち・きゅう）番（ばん）に電話（でんわ）して、「火事（かじ）です」と伝（つた）えてください。
3. 火（ひ）が小（ちい）さい場合（ばあい）は、消火器（しょうかき）を使（つか）ったり、座布団（ざぶとん）などで火（ひ）をたたいたりして、火（ひ）を消（け）してください。

4. 火（ひ）が大（おお）きくなったら、すぐに逃（に）げてください。煙（けむり）の中（なか）では、できるだけ体（からだ）を低（ひく）くして、濡（ぬ）れたタオルで口（くち）や鼻（はな）を押（お）さえてください。

寒（さむ）い季節（きせつ）になると、空気（くうき）が乾燥（かんそう）して、火事（かじ）が起（お）きやすくなります。また、暖房器具（だんぼうきぐ）を使（つか）うことも多（おお）くなります。

火（ひ）を使（つか）うときには十分（じゅうぶん）注意（ちゅうい）して、火事（かじ）にならないように気（き）をつけましょう。